

港北芸術祭に参加して

オーケストラ体験教室がきっかけでした 港北区民交響楽団 中濱理枝子さん

私は、港北区民交響楽団(区民響)の「オーケストラ体験教室」がきっかけとなって、区民響の団員になりました。年に3回ほど、演奏会で演奏しています。

私は、社会人になってからチェロを始めました。オーケストラの経験がなかったので、有名な曲を一度弾いてみたくて、気軽に体験教室に参加しました。そうしたところ、思いがけず、区民響への入団のお誘いをいただきました。

オーケストラは長年の憧れではあったものの、実際に始めるとなると、始めていいものかどうか迷いました。会社員なので、仕事と両立できる自信がなかったからです。けれども、やってみてダメだったら辞めればいいのだからと思い直し、勇気を出して入団を決めました。

それから早くも3年が経ちました。オーケストラは、練習に運営活動にと相当なパワーを要する趣味で、想像していたとおり大変です。区民響は、毎週のように練習があります。忙しくて自宅での予習ができない時には、スマートフォンで楽譜を撮影して、通勤電車で読んだりしています。演奏会前になると、プログラム作りなどでますますバタバタします。けれども、面白くてやりがいがあります。アマチュアとはいえ、お客様の前で演奏会があるのが特に練習の励みになっています。今では、両立できない心配などとは逆に、オーケストラを続けるために、仕事や家庭のことを、メリハリをつけて頑張ろうという気持ちになっています。

大人になってから楽器を始めると、オーケストラに入りたいのに入り方がわからなかったり、敷居が高かったりします。私には、地元の区民響によるオーケストラ体験教室という機会があってよかったと思います。区民響には、同じように体験教室をきっかけに入団した方々が何人もいます。

お世話になった体験教室に、今では私の方がお世話係として参加するようになりました。



コンサート本番、少し緊張しています



これから第二練習 (中華料理)

第12回港北美術展を振り返って 港北美術展 運営・企画ボランティアリーダー 廣谷良彦さん



来場される方の受付をしています



絵画の展示作業中です

早いもので、もう12回目の美術展も終了しました。今思い返しますと、最初のスタートの頃のことを懐かしく浮かんでまいります。ボランティア活動のメンバーも何人か変わりましたが、今残っているメンバーは作品の展示や飾り付けのベテラン揃いで、開催中の当番等あらゆる場面で活躍していただいております、頼りになる仲間であり先輩たちです。

自分にとっての美術展の位置づけは、この美術展が終わると本格的な春本番、さあ今年も、という気分であります。また、作品搬入時に久しぶりに会う人たちとの再会も楽しみのひとつです。

回を重ねるごとに感じることは、多くの区民の方々がこの美術展への出品をしてくださり、作品を観に来る事を楽しみにしているのだな、ということです。竹細工体験の手伝いをしておりまして、ご高齢のご婦人が寄って来てくださり、いろいろと話が弾みましたが、その方は両手に杖を持っておられ、あの坂を歩いて来られたのかと思うと、感謝感動です。翌日も来られ、「あなたの作品は」と聞かれましたので案内しましたら、「良い作品です」と目を細めながら褒めていただきました。一期一会の美術展。また来年もお会いしたいですね。

スタッフも高齢化が進んで80代の方が何人かおられますが、お互い無理をせずカバーし合いながらやりましょうと確認合っています。

80代の先輩があつと3年はやるか、と気合が入りました。私も若輩ながら、1年1年の積み重ね。楽しい愉快な仲間や先輩たちとの再会を楽しみにしております。